「出生数」は過去最低、「子どもの割合」も世界最低水準

「晩婚・晩産化」を、どう食い止める！？「人口1億人維持」を『骨太の方針』に明記！

高岡 暖くんと美穂ママ（4ヵ月）

奥田桃彩ちゃんと智美ママ（8ヵ月）

深刻！「人口減少化」社会

2013年の「合計特殊出生率」は1.43で、2年連続微増しました。と言っても、「出生数」は102万9800人の過去最低。0歳から15歳未満の「子ども人口」も1633万人で、「子どもの割合」は世界でも最低の水準となっています。「晩婚・晩産化」が招く「人口減少化」社会は深刻さを増すばかりで、「人口1億人維持」という人口目標を『骨太の方針』に国策として掲げ、「少子化社会」の克服に取り組む方針です。

取材・文／村上 直樹　データ取材／冨田 智晴

「人口維持」には合計特殊出生率「2・07」が必要

2013年「合計特殊出生率」は1・43で2年連続の微増「出生数」も過去最低の102万9800人

2013年の「合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産むと推定される子どもの数）」は1・43で、2012年を0・02ポイント上回り、2年連続で上昇しました。1・43というのは、1996年（1・43）以来17年ぶりの高水準です。2014年6月4日、厚労省が公表した「人口動態統計」でわかったもので、2005年の過去最低の1・26から、30歳代女性を中心に緩やかに回復しています。しかし、人口を維持するには「合計特殊出生率＝2・07」が必要とされるため、今後も少子化による「人口減少化」社会は続くと想定されています。

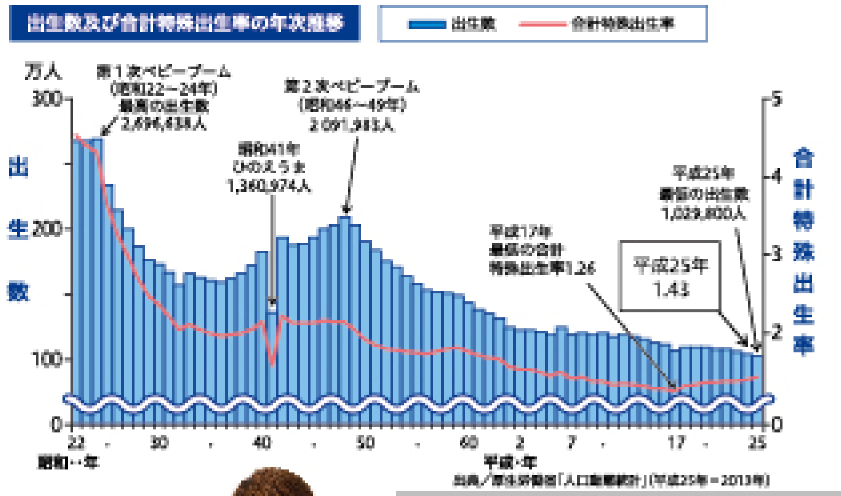
合計特殊出生率は、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）には、ほぼ2・1台を記録していますが、1975年に2・00を下回ってからは長く低下が続いています。

2013年の母の年齢別を前年と比べると、20～29歳では低下していますが、15～19歳と30歳代、40歳代では上昇しており、最も出生率が高いのは「30～34歳」となっています。都道府県別では、最高が沖縄の1・94で、宮崎1・72、島根1・65と続き、最低は東京の1・13。

一方、2013年の「出生数（子の数）」は3年連続の減少で102万9800人、前年より7431人減少しており、過去最低でした。

「晩婚・晩産化」も一段と進みました。平均初婚年齢は「夫30・9歳」「妻29・3歳」で、前年より0.1歳ずつ上昇。「第1子出生児の母親の平均年齢」は、30・4歳で0.1歳上がりました。

出生数及び合計特殊出生率の年次推移



出典／厚生労働省「人口動態統計」（平成25年＝2013年）

山本暖登くんと未貴ママ（9ヵ月）

合計特殊出生率とは

1人の女性が生涯に産むと推定される子どもの数。その年の15～49歳の女性が産んだ子どもの数をもとに算出する。人口を維持するのに必要とされる水準「2.07」と比べることで、将来の人口が増えるか減るかを見通す、重要な目安となる。

「消滅可能性都市」は全国で896自治体「日本創成会議」が衝撃的な試算

今後2040年までに、全国1800自治体（市町村）のうち896自治体の「20～39歳の女性人口」が半減するという衝撃的な試算が、2014年5月8日にまとめられました。産業界や学界の有識者らで国のあり方を議論する「日本創成会議・人口減少問題検討分科会」が、「人口の再生産力」に注目し、子どもを産んだ女性の95％（2012年時点）にあたる「20～39歳女性人口」の将来の人口数を推計しました。「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」を基準に、現状の年間6～8万人の地方から大都市への人口流出が、今後も続くと仮定して計算したところ、「20～39歳の女性人口」の“半減”は896自治体（全体の49.8％）にも及びました。これらの自治体を「消滅可能性都市」と位置づけ、さらにそのうちの523自治体（全体の29.1％）は、2040年までに人口が1万人を割るため、「より消滅の可能性が高い」と指摘しました。

50年後の「2060年代に総人口1億人維持」を『骨太の方針』で初めて目標掲げる

政府は2014年6月13日に決めた経済財政諮問会議の『骨太の方針』の中で、「50年たっても人口1億人を維持する」目標を盛り込みました。『骨太の方針』は、2015年以降の予算作りや政策に反映されます。同諮問会議によりますと、日本の総人口は、2008年10月の約1億2769万人をピークに、2013年までは、1年間に“約16万人ずつ”減少。今後は、2010年代終わりから2020年代初めにかけて“約50～60万人ずつ”減少し、2040年代初めには、“約100万人ずつ”減少していくと想定。その結果、2060年代の総人口は「約8674万人」まで減り、現在の3分の2になると推計。同諮問会議の試算では、合計特殊出生率を、2013年の「1.43」から「2.07」に回復させれば、2060年代でも1億人を維持できるとされています。出生率を掲げることは賛否両論ありますが、いずれにせよ、「2020年をメドに少子高齢化の流れを変える」としています。

「赤ちゃんポスト」の受け入れ2013年度は9人設置から7年、累計で101人に

熊本市は、親が育てられない子どもを匿名で預かる、慈恵病院（熊本県）の赤ちゃんポスト「こうのとりのゆりかご」の2013年度の利用状況を2014年5月22日、発表しました。受け入れたのは9人（男児4人、女児5人）で、2007年5月10日の設置から、7年間で累計101人となりました。2013年度の、9人のうち、生後1カ月～生後1年未満の乳児が1人、生後1カ月未満の新生児が8人で、このうち生後7日未満が3人。健康状態の良くなかった6人が治療を受けました。また、親の身元が特定できない赤ちゃんが9人中6人と、その割合は過去最高。預けた理由について（複数回答可）は、不倫が2件、生活困難・未婚が各1件、不明が6件。赤ちゃんポストの利用は、2008年度が25人と最多で、それ以降は減少傾向です。

2014年「子ども人口」は1633万人 総人口に占める「子どもの割合」は12.8％

2014年4月1日現在、全国の15歳未満の「子ども人口」は1633万人で、前年より16万人減ったと、総務省が2014年の「こどもの日」にちなんで発表しました。1982年から33年連続の減少で、過去最低を更新。総人口に占める「子どもの割合」は12.8％で、1975年（24.3％）から、40年連続の低下となりました。全国の子どもの数を男女別にみると、男子が836万人、女子が797万人。年齢別では12～14歳が351万人、9～11歳が333万人、6～8歳が319万人、3～5歳が316万人、0～2歳が314万人と、年齢が低くなるほど減少していることが分かります。同省によると、各国における「子どもの割合」は、アメリカ合衆国が19.5％、中国が16.4％、韓国が15.1％などで、人口4千万人以上の30カ国では、日本は、世界最低の水準となっています。

真相追跡！

“禁忌症”から「妊娠中」を削除！

環境省、「温泉法」を32年ぶりに見直し

環境省が、温泉入浴をしてはいけないとする“禁忌症”から、「妊娠中」を削除。妊娠中でも安心して温泉に入れるようになりましたが、この機会に妊婦さんと温泉の関係を考えましょう。

環境省は2014年4月3日、「温泉法」第18条に基づいて定められている、「禁忌症」「入浴又は飲用上の注意」の項目内容を32年ぶりに見直しました。温泉入浴をしてはいけないとする「禁忌症」について、その中に「妊娠中（特に初期と末期）」が含まれていましたが、この「禁忌症」から「妊娠中」を削除したものです。環境省は、「記録が残っておらず定かではないが、外国の文献や昔からの言い伝え・俗説を参考に禁忌症に入れていた可能性がある」と説明しています。新たな基準は、今年の夏までに各地の温泉施設で掲示されます。

温泉は、腰痛の改善やリラックス効果・ストレス解消など、うまく利用すれば妊娠中に嬉しい効能があります。「妊婦さんが温泉入浴で気をつけたいこと」を7項目にまとめましたが、特に気をつけたいのが「転倒注意」「湯の温度」「入浴時間」の3点です。

禁忌症　この場合は、温泉や銭湯に入浴してはいけない病気や症状のことを指す。

妊婦さんが温泉入浴で気をつけたいこと

① 足場が悪いため、転倒には絶対注意！
② 高温または低温の湯、サウナなどは控える。38℃前後が適温。
③ 長時間の入浴は避ける。10分程度が目安。
④ 腰いす・共有タオルなど、備え付けのものはできるだけ使わない。
⑤ 湯冷めなどで体を冷やさない。
⑥ 単純温泉など、肌への刺激が少ない湯の種類を選ぶ。
⑦ より安全を考えるなら“マタニティプラン”のある温泉施設を。

注）単純温泉とは、含有成分が薄いので体への刺激が少ない湯のこと

取材・文／冨田 智晴

※本文の内容と写真は関係ありません。

家族のしあわせを、いつまでも見守ってくれるお寺
1300余年の昔に開かれ、長きにおいて“水澤観音”で親しまれる由緒あるお寺。安産祈願・赤ちゃんの初参り・七五三など、古くから家族を見守る場としても信仰されてきた。また、境内には直に触れてパワーを給わるスポットが点在。山門から見上げる四季折々の美しい風景にも心が穏やかになれる。全国的にも珍しいお地蔵様が回転する六角堂で、家族みんなの幸せをお願いしてみては？
キャラクターお守りやストラップも！
お地蔵様が回転する重要文化財指定の六角堂は、左に3回回すと真心の供養に。
坂東十六番札所 五徳山 水澤観世音
水澤観音 検索
http://www.mizusawakannon.or.jp/ モバイルサイトはこちら
名湯 伊香保温泉のすぐ近く
tel.0279-72-3619
群馬県渋川市伊香保町水沢214
【電車アクセス】JR渋川駅より関越バス「伊香保温泉行」に乗車→「水澤観音前」下車 【車】渋川伊香保ICより約20分
拝観時間／8:00～17:00、ご祈願・ご供養受付／10:00～15:30、拝観料／無料、ご祈願／5,000円～、ご供養／10,000円～

栃木県さくら市
赤ちゃんを授かったら…
安産祈願
妊娠5ヶ月のころに、神社で祈願します。お産が安産であり、出産前もあとも母子共に健康でいられるよう神様にお願いします。祈願した「腹帯」は、戌の日に身につけます。
命名式
一生使う大切なお名前に、神様の御利益をいただけるように、「命名書」を神前に捧げて祈願します。お子様が良き人生を進めるよう、赤ちゃんのお名前は「姓名鑑定」を神社にお願いしましょう。
お宮参り
お子様の誕生を産土の神様に報告をし、今後の無事成長を祈願するために、生後1ヶ月のころにご家族で神社へ参で祈願します。出産祝いの返礼はこの時期に行います。
緑に囲まれた閑静な境内
いちょうの舞ったオリジナルのお守り
江戸の御神木
さくら市 今宮神社 栃木県さくら市馬場43 TEL:028-682-2685 http://www.imamiyajinja.com/ さくら市 今宮神社 検索